

発明工夫展

アイデアを凝らした発明



9月30日・10月1日の2日間、第6回田村市発明工夫展が船引公民館で開かれ、市内各小・中学生や一般の方々から出品のあった32点の作品が展示されました。入賞作品と県出品作品は、11月18日(土)から19日(日)まで福島県ハイテクプラザで開かれる福島県発明展へ出品されます。各部門の最優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 小学生低学年の部…松本紗葵(常葉小)
- 小学生高学年の部…高橋春花(船引小)
- 中学生の部…猪狩来騎(大越中)
- 一般・高校の部…紺野幹夫

文化協会都路支部

都路まどか荘を慰問

9月28日、田村市文化協会都路支部会員9人が特別養護老人ホーム都路まどか荘を訪れました。この事業は、歌や踊りなどを披露することで、入所者やデイサービス利用者に明るさと元気を与えることを目的に、毎年行われてます。

会員が歌を披露すると、入所者や施設利用者は一緒に口ずさんだり手拍子をしたりして、大いに楽しんだようです。

最後に、松平久子支部長から、まどか荘の皆さんにお土産が贈られると、入所者は笑顔で受け取りました。



滝根 魚つかみ大会 夏の終わりに魚を追いかけ



9月16日、滝根B&G海洋センターの今年度閉館に伴い、滝根町子ども会育成会連絡協議会主催で魚つかみ大会が行われ、子どもと保護者合わせて約100人が参加しました。

子どもたちは歓声を上げながら、素手で300匹のイワナを追いかけました。思い切りびしょ濡れになり、今年度最後のB&Gのプールを楽しんだようです。

船引町家庭バレーボール・ソフトボール中央大会 地区代表チームが熱戦

9月24日、平成29年度船引町家庭バレーボール・ソフトボール中央大会が総合体育館と多目的運動広場で開かれ、熱戦が繰り広げられました。優勝チームは次のとおりです。

〈家庭バレーボール〉船引地区 栄町チーム(写真左) 〈ソフトボール〉移地区 北移チーム(写真右)



将棋フェスティバル 子どもから大人まで将棋を楽しむ



10月1日、「棋士会ふくしま 将棋フェスティバル IN 田村」が開かれ、市内外から約130人の将棋愛好家が来場しました。

日本将棋連盟棋士会に所属する中村修九段ほか6人のプロ棋士が、トークショーを行った後、リレー将棋などで参加者と対局しました。来場者はプロの対局に目を輝かせていました。

また、来場者同士の将棋大会も開かれ、子どもから大人まで将棋を楽しみました。

磐越東線開通100周年 100周年を祝うさまざまな催し

10月15日、JR磐越東線全線開通100周年を記念して、神保駅でイベントが開かれました。イベントに先立ち、神保駅コミュニティセンター改修工事完了を祝い、オープニングセレモニーが行われました。

ステージでは、あぶくま太鼓紅組の演奏のほか、小野高校吹奏楽部の演奏、フラガール、滝根小学校児童の合唱などが行われました。

駅舎正面では、須賀川桐陽高校書道部が書道パフォーマンスを行い、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。



都路第5行政区 福大生と被災地訪問



9月24日、都路第5行政区が、福島大学との交流事業として、相馬市、浪江町などを訪ねました。

参加した市民20人と学生9人は、相馬市の千客万来館で震災の記録映像を見た後、語り部の案内で防災備蓄倉庫や伝承鎮魂祈念館、漁協と魚市場の共同集配施設などを視察しました。

浪江町の請戸地区では、地区の変わりようを自分の目で見て、声を詰まらせていました。その後、大平山霊園で慰霊碑に1分間の黙とうを捧げ、語り部の話を聞いてきました。

防犯対策 電設業協会が防犯灯を寄贈

9月26日、田村市電設業協会の筋内和夫会長ほか役員2人が市役所を訪れ、LED防犯灯4基を市に寄贈しました。同協会は以前から防犯灯を寄贈しており、今回は船引地区に設置する予定です。

また、市は同協会と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、災害時には公共施設の電気設備の応急復旧作業を行うことが確認されました。

